光和

６月号
練馬区立光和小学校
令和５年５月３０日

光和小
携帯サイト

初心忘るべからず

校 長　矢島　直行

校庭の紫陽花が美しい花を咲かせています。これから梅雨を迎え蒸し暑くなる季節ですが、学校でも熱中症対策をして、子供たちの健康に十分気を付けていきます。

先日の個人面談にはご多用の中、保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。子供たちを健やかに育むためには、家庭と学校との連携が不可欠です。お子さんの様子について、様々な情報を共有することができました。これからの指導に生かしてまいります。

さて、６月５日（月）から６年生の軽井沢移動教室が始まります。子供たちは学年スローガン「自ら学び楽しみ、協力して、最高の思い出をつくろう」を達成することができるようにそれぞれの係や班で役割を決め、準備に取り組んでいます。移動教室の様子につきましては、学校ホームページや図書室前の掲示板に写真を掲示します。子供たちの様子が分かるかと思いますので、ぜひご覧ください。６月７日（水）には、素晴らしい思い出をつくって学校に帰ってきます。

例年この時期、子供たちに、「初心忘るべからず」の話をします。広辞苑には、「学び始めた当時の謙虚な気持ちを失ってはならない。」と書かれています。経験を積み重ね慣れることも必要なことですが、気を緩めずに始めたときの真剣な姿勢、謙虚な態度を忘れずにもち続けることは大切なことです。

４月の入学式や全校朝会で子供たちに３つの大切なことを話しました。

「元気によい挨拶をする」　「話をよく聞く」　「友達と仲良くする」

４月の当初は、入学や進級し新しいクラスということもあり緊張と新たな目標に向かって頑張ろうとする姿勢を多くの子供たちが見せていました。しかし、少し時間がたつと慣れがでてきます。慣れることは大切なことですが、油断は禁物です。そこでこの時期、もう一度年度初めの気持ちを忘れないように話をします。このことは子供たちだけではなく大人、教職員も同じです。始めた時の意気込みと謙虚さを忘れずにもち続けていきたいです。

今月から水泳指導が始まります。本年度はコロナ禍前のように学年での水泳学習となります。水泳は素晴らしいスポーツですが、油断をすると大きな事故につながります。事故を起こさないために約束があります。水泳指導が始まったときはしっかり約束を守りますが、しばらくすると子供たちに慣れがでてきます。時にはこれぐらい大丈夫という気持ちが油断となり、事故につながることがあります。そこで、「初心忘るべからず」の気持ちを常にもち、安全に心がけていきたいです。

４年前までは、着衣泳を夏休み後に６年生が行っていましたが、本年度は夏休み前に５年生が着衣泳を行います。全児童が事故に遭わず安全に過ごすことができることを願っています。

これからも子供たちだけでなく大人、教職員も手本となり、約束を守ることの大切さ、初心を忘れないことを子供たちに示し、安全で楽しい光和小学校にしていきたいです。